


… 雨でも休まず；第75、76、77回 …

「若柳嵐山の森・小原本陣の森」から

- ・活動1：若柳嵐山の森：8月3日（第一土曜日）、参加費300円、弁当持参
* 森林整備に注力する。また、活動内容の充実について相談する。
- ・活動2：小原本陣の森：8月11日（第二日曜日）参加費300円、弁当持参
* 9時15分駅前集合。車分乗で行く
- ・活動3：若柳嵐山の森：8月18日（第三日曜日）参加費500円、飯のみ持参
 - ・森林作業保険＋通信費＋お昼は飯だけ持参の事
 - ・活動3、のみ申込必要：TEL&FAX 03-3411-1636（石村）
 - * NPO 認証経過説明会も開く。
- ・集 合：相模湖駅前9時15分。8時46分、9時02分のJR高尾発に乗るべし。
- ・服 装；汚れても良い格好・着替え  足元が滑らない履物
- ・持参品；軍手、自分の食器、万一の怪我に備えて…保険証写し
そして、作業を楽しむ“ゆとり”と怪我をしない「心構え」

認証：NPO緑のダム北相模

内閣府に申請していた「NPO緑のダム北相模」は、去る7月11日、認証された。厳しい審査には辟易したが、これが一度の申請で認証されたのは、これまでの仲間たちの真面目な取組が評価されたものだ。だが、喜んでばかりはられない。この法人は、何んとかして森が荒れたままになって行くのを止めたいとするのが設立の目的だが、一介の団体でどれ程の事ができるのか。課題の大きさ・難しさに愕然とする程だが、とにかく活動を継続する事が解決への道と信じている。

生態系調査が順調

夜間調査を含めて順調に生態系調査が進んでいる。今月は、底生動物（性蝸）調査もした。指導員の篠田さんの報告は、“川は、森の子供、森の環境が良くなれば川に棲む生き物も豊になれます”…と報告している。オオムラサキも確認できた。

・活動報告1：若柳嵐山の森（7月7日、第一土曜日） … 富沢・石村／合同報告

・森林作業に注力する今日は、“山降ろし・引っぱり・出籠”による森林口／「皮むきの丘」への集材。

天気は幸い、気の早い梅雨中休み気紛れ陽気だが、誰ぞ“晴れ男”の御利益か。準備イントロに手間取り10時過ぎにスタート。しかし今日は、優れものツール(道具)：「荒井屋謹製／伐出ソリ」に“さがみの森”から借りてきた「ひっぱりヘルメット」のため伐出所用時間は、ナント半減・超ハイペース。和田棟梁も「スゲー／」と感嘆の声。午後は、皮剥きにトライ。これは、想像以上のシンドイ作業…あえぐ心臓に疲労がズシリとしがみつく。皮剥ぎに割り竹でコソギ落とすのが効果的とは、新たな発見。小生、森道楽に溺れて5年、今日ほどシンドイ思いをした事は無い。某石村氏の曰く「継続は力なり」、…と言うがこの仕事、半端で無い。だが、このキツイ作業をとぎれる事なく継続・追加をお忘れなく。

・参加二回目にして、西君が林道沿いの平場に、何時の間にか持ち込んだ養蜂箱に何んともう、五万匹以上のミツバチが働いていた。何んでも山向こうの公園に桜の木が5千本もあるから来春は、極上のハチミツが収穫出来ると言う。この森の広葉樹林にアカシヤを植える計画も立てているらしい。

・改正林業基本法の示す森林の公益性・多様性を理解して、この森に集まる仲間の多種多様に秀でたスキル(技能)にはウーム、全く参ってしまう。森林簿調査が終わって、第一土曜日を定例活動に切り替え3ヶ月目の今日の参加は、31人この先、何が飛び出すやら…。但し、自然への畏敬の念を忘れる事なく、森林との調和を心せよ。そして、決して森林を荒らすまいぞ。

・活動報告2：小原本陣の森
(7月14日、第二土曜日)

参加者は12人。今日は現在、入っている森がどういう状態かを調べる“林分調査”。ここは、荒れた杉の20年生の森だが、9月からの間伐作業に向けて「10×10m」に何本、どういう状態で植わっているか調べる。3班に別けて実施した。地主の永井さんが来て作業上の注意を教えて下さった。

・活動報告3：若柳嵐山の森
(7月18日、第三土曜日)

・猛暑快晴・35度を越すこの炎天下に初参加6名を含む52

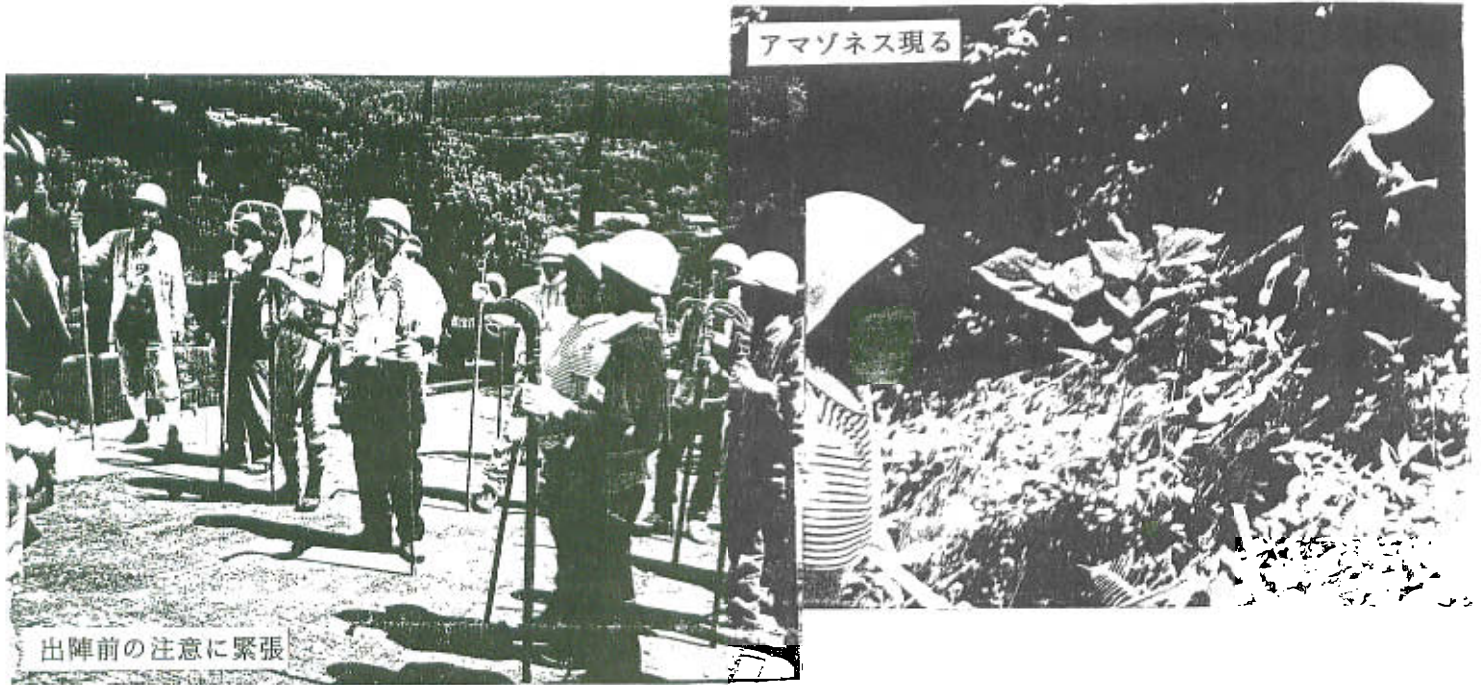
人のあんたち皆んな、一体、何者よ。この暑さ、髭園大棟梁のご便捷で杉幼木林の下草刈りに森の中に入った26人には、灼熱地獄。「こんな日わぁ～、気合いを入れてかかれっ、怪我するぞ。蜂にも気をつけろぉ～。無理すんなぁ～」とのご指導。清沢さん等プロ組は、午後も森に入った。そのタフさに驚いた。熱中症も心配したが無事。良かった。だが、俺(石)は午前でバテバテ・グロッキー、俺って根性ないよなぁ(石)。

・天井やり直し三度目の挑戦の「炭窯班」は、粘土捏ねの重労働。午前中で顎を上げて午後は時々、気合いを入れて炭窯の内壁塗りなどをやっていた。

・「こんな暑い日は、まともにやってられないよぉ～」と木陰にロゴソールで引いた板でベンチを作っ



てノンビリと涼んでいたのが「造園班」。これまで着実順調に作業を仕上げて来た余裕か。花も一面に咲き誇って風通しの良い斜面の木陰は、快適。



- ・ 7月20日(土)：生態系調査：この猛暑の中、篠田リーダーの真摯な性格が際立った。夜間調査ではオサムシ、ミヤマクワガタ等多数、確認出来ました。山頂付近では、国蝶オオムラサキが間近に観察できます。是非、見て下さい。但し、捕獲厳禁です。
- ・ 7月21日(日)；相模川と嵐山沢の底生動物(底生動物)調査を実施しました。相模溪谷では、スジエビ・貝類5種・魚類はヨシノボリ、栗林音楽堂入り口の嵐山沢でのカゲロウ、カワゲラ、トビゲラ、ヤンマトンボ、ヘビトンボ等が見つかりました。沢は途中が伏流になっていますが、これらの水生昆虫類の生息は、年間を通じて水のある事の証拠です。

“谷川は、森の子供…” 森の環境が良ければ川に棲む生き物も豊になります。森が荒れれば川の生き物も衰退します。健康な川を育むための森づくりは、大切なテーマです。 … 報告：篠田。

大月岩殿便り：第四回活動(6月23日・曇り、少し雨)

投稿報告 大月/河西悦子

松尾さん(鶴)、長塚さん(鶴)牧島さん(鶴)等、遠方からの人々と大月短大生等を加えて13人の参加。今日は、斜面藪の整備と藪中の廃屋のゴミ撤去。この数ヶ月の活動で藪の中に埋もれていた廃屋が道路から見て、スッキリ浮かび上がり清々しい風景に大きく変化した。成果が目に見えるというのは嬉しい。

7月11日：この廃屋を生そうと和田さん(鶴)、勝俣さん(浄化槽専門)が見に来てくれた。横浜の牧島さんの支援に感謝。多くの人々の支援で「大月岩殿・森づくりの会」は、確実に成長を続けている。

子供たちに森林の話しをした：於：渋谷/中幡小学校

… 石村

4月から家族連れで参加している榎田さんは渋谷区立/中幡小学校の6年生のクラスを受け持つ先生だ。子供達に森林の話しをして欲しいという事で去る6月5日の午後の授業で森林の機能や地

球温暖化など環境について話しをした。授業後、子供達から沢山のお手紙をもらった内の3通。

「森の話を聞いて」

6年1組 半田 博文

人工的に作った森は、人が手を入れないとバランスがくずれて木が倒れ、生物が生きられない死の森になるなんて知らなかった。排気ガスや呼吸で二酸化炭素が1年に70億トンも出ていて、海と森で合計47億トンも二酸化炭素を分解して酸素にしていると聞いてビックリした。このまま、森が荒れて行くと地球から木や酸素がなくなり死の星になってしまいます。だから僕は、できるだけエネルギーを節約しようと思いました。

「石村さんの話し」

6年2組 吉岡 澄映

環境問題は、一人一人が考え行動しなければならない事を知りました。今、地球上で起こっている出来事の大変さをあらためて知りました。そして、良い事をするためには、強く思うと不可能な事はないと教えてもらいました。ぼくもいろいろな事にチャレンジしてみようと思います。ぼくたちにいろいろの事を教えてくれてありがとうございました。

「森の未来：感想」

竹花宏太郎

ぼくは海草も二酸化炭素を酸素にする働きがある事をはじめて知りました。今まで、木を切ってきた人の目的をもう少し知りたいです。このまま森が荒れて行くと4百年後には人類はほろんでしまうと聞いて驚きました。それは、森をあらしてしまう人達への神のいかりだと思います。

質問：どうしたら人類がほろばないようにできますか。

・竹花君の質問2件：1)木を切る理由、2)人類の滅びない対策を書いて返事した。

竜也から電話があった。

当会の守護神／中学生の竜也が最近、顔を見せないで森仲間たちが心配していたが、電話があった。「ぼく、三年生になりました。高校受験の準備が必要です。目的の高校に受かってまた、森林ボランティアに参加します」子供たちは、純粋な目でものを見ているから教えられる事も多い。恥ずかしい大人になるまい。

定例運営会議を再開。

- ・日 時：毎月第三金曜日・6時30分～9時
 - ・場 所：マルモ出版本社
渋谷区道玄坂1-20-1大沢ビル
TEL 03-3496-7046
渋谷駅から道玄坂/歩10分
- *参加者が増えて多くの知恵を借りたい。組織の強化が必要だ。誰でも参加OK。

- 1) 8月3日(第1曜日)：若柳嵐山の森
9時15分駅前集合、参加費300円
*土曜日になっている・・・注意
- 2) 8月11日(第2曜日)：小原本陣の森
9時15分駅前集合、参加費300円
*車の乗り合いで行く。
- 3) 8月18日(第3曜日)：若柳嵐山の森
9時15分駅前集合、参加費500円

モットー 急がず、休まず、楽しく、無理せず
ボチボチと…、そして…沢山のご意見下さい。
名 称 NPO：緑のダム北相模／森林部会
事務局 154-0023
東京都 世田谷区 若林3-35-9
TEL&FAX 03-3411-1636(自宅)
TEL 03-3411-0602(事務所)
お關係 石村黄仁 (自然科学研究所 事務局)

HP ; [http://www13.u-page.so-net.ne.jp/rk9/moritomo/so-net\(u-page\)](http://www13.u-page.so-net.ne.jp/rk9/moritomo/so-net(u-page))

- ・ご支援自然保護団体：WWF・日興インベスターズ基金、セブン・イレブン：みどりの基金、